詩吟同好会

詩吟同好会は原則、毎月第4土曜日の13時30分から15時30分までの2時間、役員会の会場である東京ヒルトンホテル(新宿)の地下1階にある音羽亭で定例会を行っております。大和豊山流第2代家元川村渓泉先生の厳しい指導の下、切磋磨して練習に打ち込んでおります。

平成30年度は9月29日・土曜日の午前12時30分から千葉の「白井文化センター」の二階にあるかおりホールにおいて発表会が開催されました。式典は開会の辞に始まり、顧問、家元の挨拶ののち免状授与が行われました。

声だし練習の後は早速合吟の第一バッターです。全員で雑詠(夏目漱石)二頃の桑畑何れの日か耕さんーーー人生五十今半ばを過ぐーーーと朗々と歌い上げました。次は独吟の部に入りました。今回は、新たに大澤隆夫氏(昭和42年機械科卒)が出演されました。つづいて伊藤周風氏、佐々木里風、故地主碇風氏の3名は五段、つづいて三平旭風氏の六段の独吟が披露されました。

東京秋工会からの出演の吟題と吟者は以下の通りです。

九月十三夜　　大澤隆夫

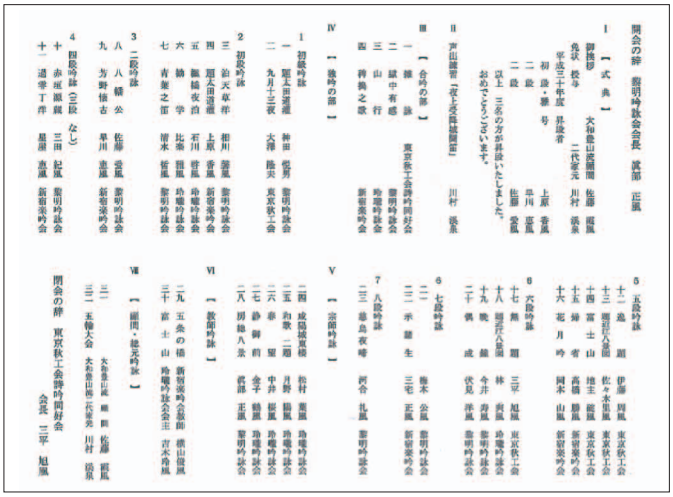
五段は、

逸題　　伊藤周風 (芳男)
題近江八景図　　佐々木里風 (進)
富士山　　故 地主碇風 (勝己)

次は六段の、

無題　　三平旭風 (俊悦)

をそれぞれ完璧に吟ずることができました。感謝感謝です。



発表会の後は懇親会がそれぞれの支部で実施することになり、なぜか北千住のカラオケ店に移り、1時間半飲み放題食べ放題であっという間に閉会となりました。

皆さんも是非、健康と長寿のために詩吟をやってみてはいかがでしょうか。大勢のご参加をお待ちしております。

詩吟同好会

事務局　佐々木 進（昭和40年採鉱科卒）
携 帯：080-5187-4422
E-mail：geo2@kce.biglobe.ne.jp